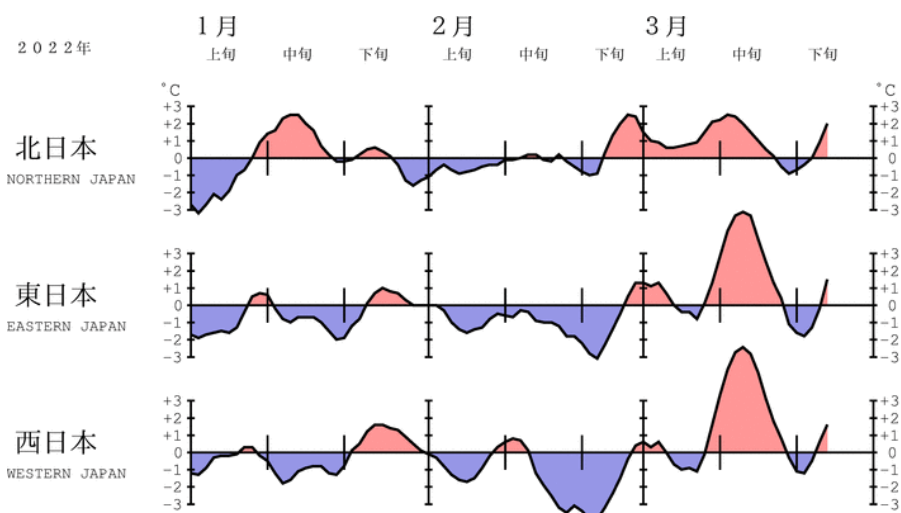


1. 各地域の1～3月の気温

今年のこれまでの「サクラだより」でも自然界には最も影響の大きいこの冬の気温の傾向や予測については記述して来た。エルニーニョの関係で寒冷的な冬となるとの予想は的中、3月も平年並みかやや高めの気温の予想は？。前報ではこの附近の3月中旬に入ってから異常に高い気温の日が続いたことを記述したがこれは何もこの地域に限ったことではない。奄美・沖縄を除く全国の1

～3月の気温の経過図を示しておきます。図には出ていませんが3月下旬にかけても暖かな日が続きそうです。



2. サクラ（ソメイヨシノ）開花1番は東京にあらず。

サクラだより4号で毎日新聞の【なるはドリ】の記事を紹介した。この中でウエザオニュース社の予測で「東京は今年も最速3月18日予想」との記事を紹介した。ところが、今年の開花1号は、福岡で3月17日、次いで宮崎の3月18日、19日に佐賀と高知が開花、20日になって熊本、鹿児島と共に東京の開花となった。とは言えやはり東京の開花は特異的に早いですね。

因みに昨年度は、3月11日の広島が一番早く、12日に福岡、14日に東京、長崎、松江、15日に高知、松山、高松、16日に京都、宮崎・・・であった。

また、一昨年は、3月14日東京、3月18日横浜、熊谷、3月19日前橋、21日になって福岡が宇都宮、水戸、岐阜と共に開花したというデータが残っている。昨年、一昨年は南から北への「サクラ開花前線」という言葉が消滅したかに見えた。これは、地球温暖化の影響で冬季気温の上昇で「休眠打破」が九州などでは遅れたことがこのような開花前線を崩した原因とした。

今年は、上掲の3か月気温経過図でも明らかなように、12月下旬から2月末まで九州・四国を含む西日本でも平年を下回る気温が続いた為、「休眠打破」が順調に進み、気温の高い南からの開花となったと考えられる。なお、3月中旬の異常に高い気温の為、開花が促進され各地共、平年を上回る早い開花が記録された。

3. 近畿地区のサクラ（ソメイヨシノ）の開花状況

上例にもれず近畿地域でも彦根を除く5ヶ所での開花が既に報じられている。これ等は次ページに昨年、一昨年および昨年改定された「新平年開花日」と共に表にまとめておく。新平年値は1991年から2020年の平均開花日で、従来の平均日より各地共1, 2日早くなっていたが、ここ3年間はいずれの場所でもこれより早い開花となっている。特に、今年は2月までの気温が低く「休眠打破」が早く進み、3月の気温が平年並みに推移すると予想された為、開花も平年並みか若干早いと予想されていた。

結果は右の通り、和歌山を除いて昨年ほどではないが、新平年値よりも早い開花となった。上掲の側近までの気温経過図から分かるように3月中旬の異常に高い気温の影響を受け、他地域と同様にこの地域での開花を早めたと考えられる。

近畿地区のサクラ開花日				
地域	新平年日	本年	昨年	一昨年
大 阪	3月27日	3月23日	3月19日	3月23日
京 都	3月26日	3月24日	3月16日	3月24日
神 戸	3月27日	3月25日	3月24日	3月26日
奈 良	3月28日	3月25日	3月21日	3月24日
和歌山	3月24日	3月24日	3月18日	3月22日
彦 根	4月1日		3月22日	3月27日

4. 附近のサクラ（ソメイヨシノ）の開花状況

・附近で最も開花が早かったのは、「切り枝」を採取した阪急電鉄沿いの植え込み、線路の北側の土手の上に植えられ、終日陽当たりが良い場所の為か毎年開花が早い。1番早い樹では3月20日に数輪開花他の10本ほどはいずれも3月22日の開花となった。

毎年行っている、独自の「切り枝」加速テストのサンプル採取は公園の樹からは憚られるので、この並木から頂戴している。この切り枝テストの今年の結果に関しては既報の通りで休眠打破の始まったのが、1月末、また、3月1日の切り枝テストの結果を踏まえ3月の気温が平年並みに推移すれば、開花は**3月26日**と予想。その後、3月中旬の異常気象で積算温度が40℃も上回ったのでこれを補正すると、4日ほど早くなるとした。3月22日の開花はまぐれ当たりか？

・なお、附近の数か所の公園のサクラも早いものでは3月23日に開花しました。

5. 観察標準木の

下の2枚の画像は私の撮影したものではありません。これまでも何度も紹介してきている、Google Earth から取り込んだ画像です。上空からの画像は現時点では場所によりますが（というよりは画像の更新された時期によるが・・・）1m程度までは解像可能となつて来ています。下左は私の観察地、近くの翠ヶ丘公園附近の鳥瞰図で、観察木は→の樹です。また、●印の場所から観察木の画像が左のように取り込むことが出来ます。なお、●印の場所からは東西南北360°、上下方向の画像が取り込めます。ただし、樹木の様子などは画像の取り込まれた年月日で異なります。

脱線いたしました。私が長年開花を観察してきているマイ標準木の開花は3月23日、毎年附近よ



りは2, 3日早く開花するのですが、今年は同時期でした。



また、5、6輪の開花後、花数の増えるのも比較的緩やかで20輪、50輪〜4、5日たってやっと1分咲きというような傾向がみられましたが、今年は別、開花直後から開花が多くなり3月29日夕には満開となりました。

6. 夙川公園の桜、

この「サクラだより」では再々登場する夙川公園は河川の両岸全体が公園として整備されている都市公園。1949年(昭和24年)に、辰馬卯一郎市長の提唱で1000本の桜が植栽されたのが始まりで、川の両岸に南北2.8kmに桜並木が続く。現在はソメイヨシノを中心に約1660本の桜があり、日本の「さくら名所100選」にも選ばれているとのこと。阪神間にあり、交通至便のサクラの名所として毎年多くの人が訪れる。河川改修で苦楽園口から河口の香盧園浜まで一直線、外側に松並木、河岸側にサクラ並木が配され、松の緑に❀❀❀淡いピンクのサクラが映えるといった構図はどこを採っても絵になる場所である。

右は3月29日、阪神国道から山側の映像。ここの開花は早いもので3月20日ごろから、現在は3分~5分咲きの樹が多いようです。因みに最近では夕刊紙面に各地の「桜だより」が掲載されますが昨28日には「咲き始め」と発表されています。いずれにしても見ごろは来月はじめとなるでしょう。



7. 早咲きサクラの今

7-1. ヒカンザクラ

今年一番早く開花した「カワズザクラ」は3月20日ごろには2分程度の花を残して葉桜に移行、現在は完全に新緑の樹木に変身している。一方、このサクラの母種であるヒカンザクラは3月3日に開花、3月12日には8分咲きとなったが、10日程経った3月23日に観に行ったところ、5本とも多少の落花は見られたものの右の写真のようにまだ満開?の状況であった。また、展葉も見られなかった。亜熱帯に属する沖縄などでもこの種は開花から満開までには平年でも12~15日かかっており、3月中旬の異常な気温高があったとしても当然と言えば当然なのかも知れないが……。開花から満開まで2、3日で姿を消したシナミザクラなどとは大違いである。



7-2. ヨウコウ（陽光桜）

本種の生まれた経緯については、以前の「サクラだより」に詳述しているが、第2次世界大戦中に学校教員であった高岡正明が、戦後、戦死した生徒たちの冥福を祈って各地に桜を贈ることを思い立ち、環境適応能力が強いサクラを作出すべく、25年の試行錯誤の後に、寒さに強い日本のソメイヨシノに由来を持つアマギヨシノとヒカンザクラを交雑させて誕生させた。環境適応力の他、てんぐ巣病や病害虫に強い樹勢強健な種とされる。

昨年までは、私の散策路では1本の植栽だけであったが、今年は事情が変わって来た。既報のように昨年、芦屋の朝日ヶ丘町の古い「サクラ参道」（ソメイヨシノ）の上部を除いて改修され、ソメイヨシノ古木に変わって陽光桜が街路樹として30本ほど植栽されたからである。比較の為、上部のソメイヨシノの並木道と、新装なった陽光桜の並木道の画像を並べておく。3月27日の画像で、ソメイヨシノは3分咲き、陽光桜は6分から満開（開花は3月16日）となっていた。陽光桜もヒカンザクラのDNAを継承

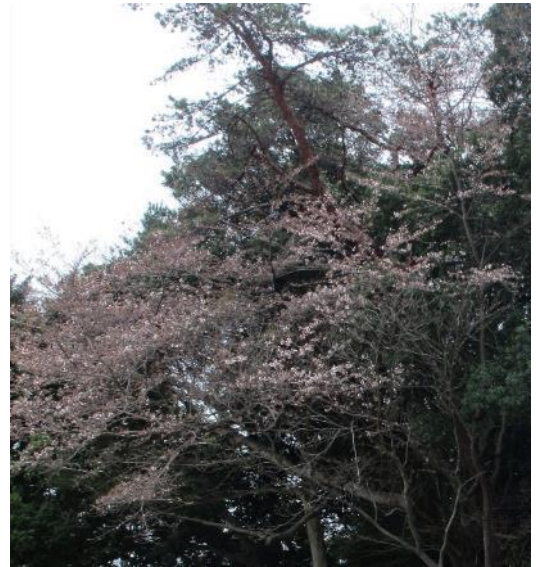
するので、蕾は暗赤色で下向きにつけ、花は大輪でカワズザクラよりは濃い桃色で花はやや下向きにつくが美しい。まだ、樹が若いのでボリューム感はないが、将来はこの道の頂部にある芦屋霊園（ソメイヨシノを中心に200本のサクラが植栽される隠れた名所）と共に芦屋市のサクラの名所に加えられるであろう。場所的には芦屋市の保存林のヤマザクラ、ベニシダレ（後述）の見られる場所から2,3分私の散策路に新しい観察スポットが増えた次第。



7-3. ヤマザクラ

一口に「ヤマザクラ」といっても特定の樹種をさすのではなく、正確には「山に自然に咲いていたサクラ」ないしこれの改良種をさす。分類すれば100種以上があるとされる。何となく「褐色の葉と白色花」が同時に展開するのをヤマザクラと思いこんでいる人が多いのではないのでしょうか？ご存じの通り、古い時代からサクラの名所は「吉野」とされてきました。ここのサクラは全てヤマザクラ。ソメイヨシノの名所のようにモノトーンの色彩ではなく、様々なヤマザクラがそれぞれの花色・展葉が彩りこれを取り巻く周囲の樹々の新緑と相まって人口的でなく、自然のハーモニーが人々の心を引き付けて来たのでしょう。

吉野まで、足を延ばすまでもなく、近くの甲山森林公園でも10（品）種以上のヤマザクラが見られます。開花の早い数種は3月下旬には満開になっているのですが、今年は開花が遅く、3月28日の展葉調査時には1種が3分咲き、3種ほどがチラホラ咲きの状況でした。写真は中央入口附近の開花の見られたヤマザクラです。因みにこの附近のソメイヨシノは早いものは5分咲き、大半は1～2分咲きと麓よりは若干遅れ気味でした。



一方、私の散策路の芦屋市・岩園保存林にも10数本のヤマザクラがあり、やはり早咲き種と遅咲き種があります。3月24日には3本が満開となっていました。高木で囲いの中、樹林の中なので樹冠しか見られませんが、白色系です。なお、遅咲き種数本は道に面していますが、これ等はまだ蕾かたしといった状況です。

また、長年見て来ていた駅への道筋の阪急線路法面に植えられているサクラ並木の中の典型的な褐色の葉と薄いピンクの花を開く「典型的」なヤマザクラ（以前はソメイヨシノの開花後展開）は現在3分咲きでソメイヨシノより若干開花が遅れています。

7-4. ベニシダレ

一昨年から、芦屋市六麓荘町の経緯不明のベニシダレの古木群、今年も写真のように満開になりました。開花3月23日、満開が27日でした。昨年は開花が3月15日、満開3月23日の記録が残っていますので若干開花が早かったようです。また附近のソメイヨシノは3分咲き程度でしたので、これよりは早い開花と言えるでしょう。

＊今年のサクラはこの種を含めて開花から満開までの期間が短くなっています。多分、寒い冬であったので、「休眠打破」がここ2年ほどよりは短期間に進んだからではないかと思っています。

後日、精査して見ます。

以上

